

||||||| 共働・共助による事業活動の推進／自主・自立による組織活動への参加 |||||

シルバー

2011・9
127号

せたがや



撮影 山下 賢造

世田谷散策

九品仏浄真寺



ゆとり持て 急ぐ心に 事故が待つ
バランスは 体と心の 二重奏
安全は 目と手と耳で 確かめて

平成23年9月15日発行／編集発行・公益社団法人 世田谷区シルバー人材センター
本 部：〒156-0051 世田谷区宮坂1丁目24番6号 宮坂区民センター内 ☎03(3426)9211(代)
烏山支部：〒157-0063 世田谷区粕谷1丁目7番34号 ☎03(5316)1371

<http://www.sjc.ne.jp/setagaya/>

名誉会長就任 ご挨拶



名誉会長に選任いただきました世田谷区長の保坂展人です。まだ経験も浅く皆様のアドバイスを受けながら努力を重ねたいと思っています。

少子高齢化が急速に進む今日、豊富なこれまでの経験を活かしながら、高齢者にできる限り元気で活躍してもらおうことが求められています。

シルバー人材センターにおかれては、高齢者に就業機会の提供を通して、地域社会の活性化に貢献いただいているところです。

今後とも、より多くの方が入会され、顔と顔の見える地域社会づくりの一翼を担って、ますます充実、発展されることをお祈り申し上げます。

世田谷区長 保坂 展人

区長表敬訪問と「ふるさと区民まつり」

7月21日、名誉会長就任と総会にご出席いただいたお礼をかね、会長以下役員5名で、保坂区長を表敬訪問しました。

会長が事業概要の説明や区の補助金へのお礼を述べるとともに、当センターの目指すところ、区の生涯現役施策と相まって、自主・自立、共働・共助の「生きがい就業」を貫いていく旨をお伝えしました。

区長は、当センターの受注職種や就業中のシルバーの実態に関心を寄せられ、率直なご質問もいろいろ出て、有意義な会談になりました。

8月6日、7日、馬事公苑で、第34回「ふるさと区民まつり」が開催され、当センターもテントを構えて、事務局職員や理事が交代で対応しました。

2日間で延べ来場者数は258,500人。猛暑の中、



▲右端から秋山副区長、竹内会長、保坂区長

当センター配布の竹芯の団扇は大人気。毎年この団扇を楽しみに来るといの方が多数おられたのは、嬉しい驚きでした。6日午前、訪れた区長と竹内会長がテント前で配布した団扇を手に記念撮影。

新体制に向け 活発な議論が飛び交った

箱根の役員研修会



6月27～28日、箱根のごうら山荘で、会長以下総勢13名の一泊研修会が行われました。

色とりどりのアジサイの花に迎えられ強羅駅に到着。午後1時より研修を開始。

研修議題は、役員・事務局の係長級以上の全員から募った「当センター発展のための提案事項」から精選された以下の5テーマです。

- ①理事候補者選考基準の検討
- ②当センターの会員憲章・バッチの作成検討
- ③就業適性化ルールの検討
- ④高齢で未就業の会員さんの処遇
- ⑤女性会員の就業分野拡大

議論の結果は、以下のような形になりました。

①は、公益法人移行後の定款には、理事候補選考基準や選考法の細則がないため、策定委員会を立ち



上げ、年内に検討・報告。

②についても策定委員会を設け、会員の意向を調査する等、年度内に具体的な検討を行う。

③は、4回ルールの徹底が就業機会の公平化に大切であるが、線引きが難しい事例もあり、就業適性化部会で今後も検討していく。

④は、一般会員とは別のグループを作る案が出たが、互助会的補助金が認められない現体制では、当面検討を見送る。

⑤実現に向けて検討する。

午後4時まで白熱した議論が続き、出席者全員が充実した気持ちで、互いの親睦も深まりました。

総務・企画委員会の活動計画

委員長 衣笠 俊一

当委員会は、会員の皆様が日々安心・安全に就業できるよう、新法人体制の環境を整え、センターの発展に寄与したいと考えています。

23年度は、具体策として以下の3項目を重点に活動していきます。

1 組織運営について

- ・新法人として定款・諸規程等の整備
- ・総会・理事会の運営、地域組織等の再構築・強化、および理事・監事選考システムの構築・制度化

2 会員に係わる事項について

- ・会員の入会・表彰・研修、さわやか相談窓口、地域活動連絡会議等における新法人としての意識改革の徹底、情報の管理と公開、会員共通の憲章やシンボルの作成検討

3 広報・広聴の充実について

- ・「シルバーせたがや」の編集・発行
- ・ホームページのリニューアル

上記の各々について、わかりやすさや内容の充実を図り、適時、最新情報を発信し、センターのPR活動を活発にする。

事業推進委員会の活動計画

委員長 前橋 允

昨年・本年と会員数が増え続け、2012年には団塊の世代が65歳になり、この傾向がさらに続くと予想され、早急に着実な対応が求められています。

当委員会は、これらを踏まえて、23年度は以下の7項目のテーマを掲げています。

1 理事による発注者訪問

仕事の増大・維持

2 仕事別グループの組織化・就業の公平化・事務の合理化・安全対策

3 新たな就業改善計画

就業機会の公平化等

4 就業率アップ

前年度比1.2%アップを目標

5 ボランティア活動

福祉の受け手から担い手へ

6 各部会からの報告

センター内のコミュニケーションの徹底

7 災害時対応策

免責・安全対策の検討・実施

これらを基に、鋭意努力を重ねてまいります。

平成23年度 定時総会 22年度一般会計決算 事業報告

公益社団法人として最初の定時総会を開催 世田谷区民会館ホール

5月30日(月)午後、公益社団法人として最初の当シルバー人材センターの定時総会が開催されました。

菅野理事の司会で、竹内会長の挨拶「新法人となりセンターの役割はますます重要。永年、世田谷の地にお世話になり、恩返しの気持で『生涯現役』を貫き、誇りと自信を持って邁進したい」から始まり、4月に世田谷区長に就任された保坂展人(のぶと)氏を、理事会で当センターの名誉会長に推戴し決定されたことが報告され、会員の満場の拍手で承認されました。

続いて、3月の総会時とその後募った東日本大震災の義援金41万5千円余を、区役所を通じて被災地に送ったことが報告されました。

ご来賓を代表し保坂区長、三宅都議会議員からご祝辞を戴き、畠山区議会議長のメッセージが代読され、議事に移りました。

永田・下馬組長が議長に選ばれ、事業報告では、政府の事業仕分けにより大きな影響を受けたものの、22年度は会員数が2,900人に迫り、契約金額も2.5%アップ、就業率も前年比で3.9ポイント上昇し、順調に実績を上げることができたと報告されました。

平成22年度一般会計決算、監査報告、理事の選任が議案として提案され、質疑応答のあと原案どおり承認されました。結びに衣笠副会長の挨拶があり、午後4時前に最初の定時総会は閉会となりました。(会員総数2,843人、出席者・委任状等で2,047人)

表紙説明

久品仏浄真寺

緑に覆われた参道を抜け総門をくぐると、樹齢数百年のケヤキ、カヤ、トチ、菩提樹等の古木が出迎えてくれます。1678年、奥澤城跡に建立された由緒ある寺です。本堂前に並んだ3棟のお堂に3体ずつ阿弥陀如来像が安置されていることから、「九品仏」と称されています。(東急大井町線九品仏駅下車 3分)

7月20日午後、新体制最初の組長研修会が開催されました。

研修の主題は、公益法人移行の背景や旧体制との違いを理解し、新体制の中で当センターおよび会員はどうあるべきか共通の認識を持つことです。

研修第1部は、竹内会長による「新組織移行の背景と当センターのあり方」について説明。第2部は、3グループに分かれて、各々異なるテーマで討議を行い、最後にその結果を全員で確認する形式で行われました。

◆「公益法人移行の背景と新組織」の解説

公益法人制度が疲弊して時代の流れに沿った制度改革が行われ、当センターは、高齢者の福祉増進を目的とする、公益社団法人に認定されました。

従来と変わった点は、新定款にある「**健康な高齢者が社会奉仕活動等に積極的に参加して、活力ある地域社会づくりに寄与すること**」を推進していくこと、会計処理も企業会計に近い形になり、会員は社員として一定の役割を担い、お客様（発注者）に対しては、良いサービスを提供する責任を担うことになりました。

理事数も半減され、2つの専門委員会の下に部会等を置く組織体制になりましたが、地域組織は従来どおりで推進します。

◆グループ討議の3つのテーマ

①地域組織におけるボランティア活動のあり方

公益法人の目的の1つに、地域社会における「社会奉仕活動」が挙げられている。町会・自治会・老



人会等があるが、当センターの組・班の単位でボランティア活動ができないだろうか。

②災害時における組・班の地域奉仕活動は？

東日本大震災同様の震災が起きた場合、当センターの組・班が各地域で、支援を必要とする人たちにどのような奉仕活動ができるであろうか。

③地域活動連絡会議(旧懇親会)の進め方は？

会員の交流・結束力強化に重要な旧懇親会は、助成金が認められなくなり、地域組織として存続・活動を強化していくには、どう進めたらよいか。

◆3テーマの討議のまとめ・提案

①、②のテーマとも、町会・自治会等の既存活動グループの中で、シルバー組の活動の第一歩として、地区のまちづくり活動「歩こう会」「防災訓練」「学校単位の避難所運営」等に、組・班の有志が参加してはどうか。まず、存在をPRすることが大切であろうという提案に落ち着きました。

③では、懇親会の意義は大切であるが、今は新体制を会員が理解し、どう活動すればよいかを考えるチャンスと捉え、会議主体で「地域活動連絡会議」を開催したいという意見に集約されました。

25組の組長さんに緊急アンケート

地域組織連絡会議はどうなる！

公益法人移行により、従来の懇親会助成金1人500円が認められなくなりました。

どこの組も多数の会員さんの出席を願って、低予算で楽しい会を企画するため知恵を絞ってこられました。会費をアップすると出席者が減るのではないかと、地域の会員が親しく顔を合わせる唯一の機会なので、何に重点を置いて会を開催すべきか。

先般の各組の班長会では、これらが重要課題になりました。

そこで右記のアンケートを実施しました。

①会の開催時期

②昨年までの会費の額

③今年の会費をどうするか

(・徴収する ・しない(0円))

・会議と懇親会を分け、懇親会だけ徴収)

④予定している会費額

⑤会費額決定で考慮した点

(・出席減を考慮し昨年と同額 ・助成金分アップで昨年同様に ・試験的金額で様子を見る)

⑥出席率アップの要素で重視する点

アンケートの結果一覧

	組	開催期	旧会費	予定会費	会費額決定要素	出席者増の要素
1	A	秋	500	500	出席減を考慮	無料のイベント
2	B	秋	800	1000(懇親)	試験的に	おいしい酒と食べ物
3	C		800	1000	昨年同様に	楽しいイベント
4	D	冬	500	未定	未定	未定
5	E	秋	500	1000(懇親)	昨年同様に	おいしい酒と食べ物
6	F	秋	0	500(懇親)	昨年同様に	無料のイベント
7	G	秋	0	0		無料のイベント
8	H	夏	500	500	昨年同様に	無料のイベント
9	I	秋	500	1000	昨年同様に	楽しいイベント
10	J	秋	500	500	試験的に	無料のイベント
11	K	秋	500	500	昨年同様に	楽しいイベント
12	L	秋	500	500	出席減を考慮	楽しいイベント
13	M	秋	500	500	出席減を考慮	無料のイベント
14	N	冬	500	500(懇親) 0	出席減を考慮	
15	O	冬	500	0	試験的に	無料のイベント
16	P	秋	500	0	試験的に	おいしい酒と食べ物
17	Q	秋	0	0	試験的に	
18	R	秋	0	500		無料のイベント
19	S	秋	0	1000	試験的に	無料のイベント
20	T	秋	500	1000(懇親)	昨年同様に	おいしい酒と食べ物
21	U	秋	500	1000	昨年同様に	おいしい酒と食べ物
22	V	秋	500	0	昨年同様に	おいしい酒と食べ物
23	W	秋	500	0	試験的に	無料のイベント
24	X	春	0	300		おいしい酒と食べ物
25	Y	秋	500	500	試験的に	無料のイベント

注) 500(懇親)：親睦会会費 無料イベント：警察・消防署・当センター会長等の講演・解説

(・無料のイベント ・経費より楽しさ優先イベント
・おいしい酒や食べ物を優先)

結果をまとめてみると下記のようにになりました。

- 会費0円で行う予定の総数……………12組
 - 昨年同様に0円で行う……………4組
 - 昨年500円徴収を0円にする……………3組
 - 別途、懇親会費用のみ徴収……………5組
- 会費額決定で考慮した点は
 - ・昨年同様の会にしたい総数……………9組
 - 不足助成金分上乗せ……………6組
 - (懇親会を別に設定……………3組)
 - 昨年と同額・200円増……………3組
 - ・反応を探る試験的金額総数……………8組
 - 会費を下げた・0円にした……………5組
 - 会費(懇親会含む)をアップ……………2組
 - ・出席減を考慮、昨年と同額……………4組
- 出席率アップのため重視する点は
 - 無料で役立つイベント……………11組
 - おいしい酒や食べ物……………7組
 - 楽しさ優先イベント……………4組

◆アンケート結果から推定できること

回答の半数が、会費0円で会議開催予定という結果は予想外でした(お茶は出ます)。自由筆記のコメントや研修会の発言等も合わせて判断すると、まず新体制の当センターの変化や今後の在り方を理解したい、そのため試験的に会議主体で開催してみようという意思の表れと解釈できます。

会費の額により出席者減があり得るが、極力昨年並みの楽しい会にしたいという意図が、会費額決定時の選択の姿勢に現れています。

また、胸襟を開いて楽しく語り合う大切な機会であるという意識も、会議後に有料の懇親会を設定するか、出席率アップで重視する項目に、おいしい酒や食べ物が7組も選ばれた点に現れています。

魅力ある地域組織の交流会にするべく、組単位でお花見や旅行会を開催している地域もあり、予算のやり繰りやイベント企画に苦心されている班長・組長さんの裏話を聴くのも一興ではないでしょうか。会員の皆さん、ぜひ出席しましょう！

ホームページをリニューアル!

のぞいてみてください



▲ホームページのトップ画面

7月から、当センターのホームページが一新され、センターに関する豊富な情報が満載されています。知りたい情報を探すのも、手早く簡単になりました。

例えば、就業できる仕事の種類やその具体的な内容、早く就業できる仕事は何か、続けてどれくらいの期間働けるのか等、疑問に思うことがあったら、ぜひのぞいてみましょう。

「世田谷区シルバー」と文字を入れてインターネットで検索すれば、すぐ左記の画面にたどりつけます。「シルバーせたがや」のバックナンバーも見られます。

安全委員会からのお知らせ

安全委員会委員長 菅野 和昌

当センターにおける昨年1年間の傷害事故発生は6件でしたが、今年は8月時点ですでに6件と多発しています。

就業中はもちろんのこと、就業に向かう途中や帰宅途中でも、バランスを崩してころび骨折事故が起きやすいので十分に注意しましょう。

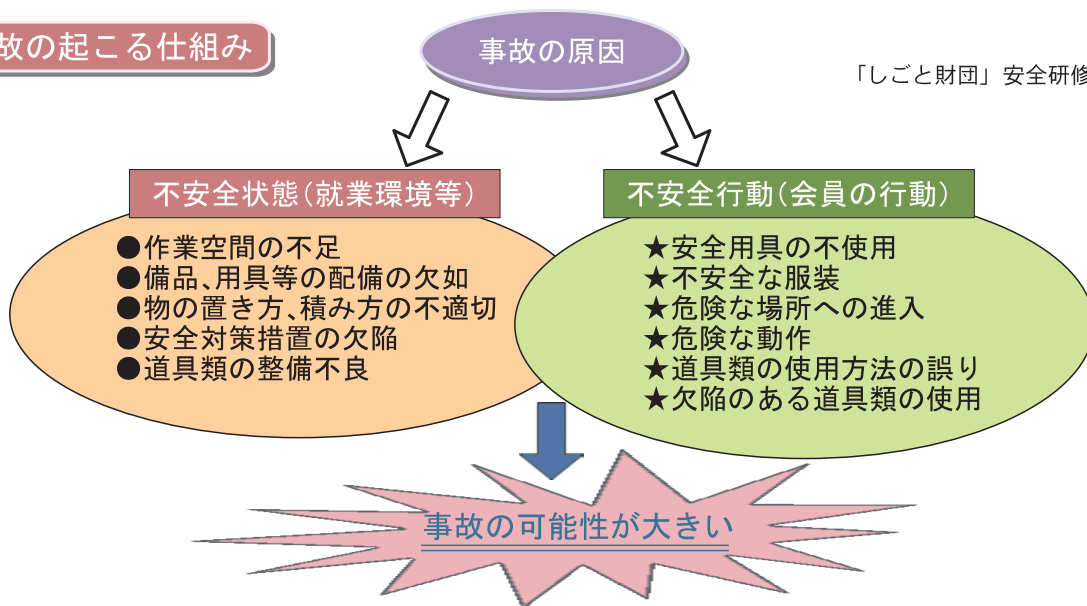
安全委員会では、本年度の重点項目を右記の3点に決めました。

- ①「安全就業基準」の遵守
- ②自転車事故の防止
- ③転倒事故の防止



9月に「安全パトロール」で安全委員が会員さんの就業先約40か所を巡回しました。その折、率直なお声やご要望などを聞かせていただき、誠にありがとうございます。今後の安全対策に活かしてまいります。

事故の起こる仕組み



「しごと財団」安全研修資料から

……安全標語の募集のお知らせ……

安全委員会では、平成24年度の安全標語の募集を行います。日常の就業を通じて「安全」について感じていることを標語にして、応募ください。

作品の応募要領は別紙のとおりです。皆様の応募をお待ちしております。

東日本大震災と「なでしこジャパン」

上祖師谷組 江口 徹

7月18日の女子サッカーワールドカップ悲願の初優勝は、全国民に勇気と明るい光を与えてくれました。被災者を励ましたいという強い気持が勝利の原動力になり、追い込まれながらも戦い抜き初優勝に至ったのです。

試合終了後、世界各国からの震災支援に感謝する横断幕を掲げピッチを一周して、外交官の役割をも果たしてくれました。チームの団結力と強固な精神力に、世界各国のTV・新聞は賞賛のコメントを寄せています。被災地の人たちは、この決勝戦から勇気と自信と力を感じとり、再起に明るい希望を見出していると思います。

それにつけても緊張感と謙虚さに欠ける現今の政治家、被災地復興に対する配慮に欠ける政府の対応策への国民の苛立ちと不信は募ります。一市井人として、国民の立場に立つ、真摯な政治を心から切望してやみません。



センターの発展を期待して

池尻組 石河 利雄

私がシルバー人材センターへ入会したのは平成10年9月。それから早や13年目を迎えようとしています。その間、2ヶ所の駐輪場管理を10年間、理事を8年間勤めさせていただきました。13年の間にたくさんの区民、会員の皆様と出会い、いろいろと貴重な経験をさせていただきありがとうございました。

当センターの会員は年々増加し、現在2800人を超えており、今後も増加すると思われます。そのため、仕事の種類を少しでも広げ、発注量を増やして、多くの会員が就業できるようにしていかなければなりません。

会長をはじめ役員の方々や事務局が協力しあって、現在の仕事量の拡大と新規の仕事の開拓を進めるべく頑張っておられますが、会員自身も、シルバーでできそうな仕事がありましたら、事務局に声をかけてみるというのもよさそうです。今後とも当センターの発展を心から期待しています。

体全身で示そう、伝えたい事を

船橋組 丸貴 静香

50年ほど前、新人教育の仕事の関係で話し方講座を受講し、手話を知りました。その後、難聴者を中心に手話を学びました。会話を交わしたり音楽を聴いたりするのを当たり前のことのように感じていますが、音の世界から隔絶された聴覚障害者には手話はコミュニケーションをとる大切な手段なのです。

1988年の区報で区の手話講習会を知り、参加して新しい手話を学び、忘れないようにボランティアをしながら今日に至っています。

昨今は障害をお持ちの方も、積極的に街や旅行へ出かけやすい環境になりつつあります。筆談という手段もありますが、言葉の通じない外国で、身振り手振りの会話(ボディランゲージ)を経験された方も多いため、同じ手法が使えます。

災害時には情報が伝わりにくい聴覚障害者に、一人でも多くの方が簡単な手話を身に付けられますよう願っています。

生徒たちから元気をもらって

北沢組 土屋 光男

シルバーの学習教室で教え始めて10年以上になります。今年は、中学3年生に週2回90分の授業を担当しています。

教科書に沿った指導を基本に、一人ひとりの生徒の今に適合した教材を与え、かつ、高校受験も視野に入れた指導プランも行っています。

世代間の断絶にカリカリすることもあります。孫ほどの十代の少年少女との触れ合いは貴重です。めざましい彼らの心身の成長に、82歳は対応しなくてはなりません。この年齢になると、若い人たちから元気をもらい、「教える」というよりも、「教えさせていただく」という気持ちです。

オリジナルの教材づくりにはパソコンを活用。坂が2箇所ある自宅から宮坂までの道のりは、自転車で15分かかりますが、腿の筋肉トレーニングと思えば苦にはなりません。



会費納入のお願い

平成22年度及び23年度の会費(年額1,000円)が未納の方は、早急に宮坂本部または支部にお納めください。

事務局 だより

●配分金振込日予定●

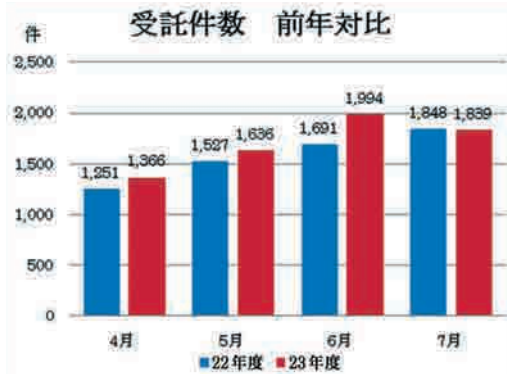
9月分 10月14日(金) 10月分 11月14日(用)
11月分 12月13日(火) 12月分 1月17日(火)

配分金振込みは支払日に指定口座へ入金されますが、給与振込みと違い、全ての口座へ午前中に入金されるわけではありません。ご了承願います。

事業実施状況 (平成23年8月末現在)

会員数 男 2,099人
女 807人 計 2,906人
受託件数 4～7月 6,835件
契約金額 4～7月 4億652万円

会員数は、前年8月比で125人(4.5%)増。事業実績は、前年4～7月比で受託件数が民間受託を中心に518件、契約金額が1,105万円、配分金額は1,018万円(率で各8.2%、2.8%、3.1%)の増となりました。東京都全体の傾向が前年並み状況に比べ、当センターは会員の皆様、事務局等の頑張り、事業実績は堅調な伸びを維持しています。



S.S.B.C ボウリング同好会 会員募集



このクラブ(通称S.S.B.C)同好会はボウリングを通じ会員相互の親睦と健康を維持し、技術の向上を目的に本年3月に発足しました。ゲームの中では初心者のもとより、和気あいあいゲームを楽しんでいます。

毎月第2金曜日PM4:30スタートで月例会を進めています。また、褒賞付きのボウリング大会を年4回行っています。このような内容で会を進めておりますが、この輪を広げるため、随時、会員の募集を行っています。

連絡先 代表 鈴木 尊康 まで
(TEL・FAX 3704-0748)

いきいき・せたがや文化祭

「いきいき文化祭」作品募集

恒例の文化祭が10月に開催されます。日頃研鑽された会員の皆様の作品を展示発表してください。

振るっての参加をお待ちしています。

●と き: 23年10月20(木)・21日(金)

●と ころ: 世田谷区民会館

★作品部門の募集要領

作品の種類: 絵画・彫刻・書道・写真・造花・手芸・人形・細工物など

◆応募方法◆

出品希望者は氏名・住所・電話および作品の種類・数量を10月7日(金)までに宮坂本部にご連絡ください。作品の搬入日は、その際にお知らせします。個々に会場へ直接搬入はできません。

事務局担当 飯島 (TEL 3426-9211)

126号掲載の下記の誤りを訂正しお詫びします

訂正箇所	誤	正
3P 安全委員会 就業適性化部会	高品 済	高品 齊
6P 組長・支援理事 一覧表	組名 奥沢 組長 古知 和義	組名 奥沢 組長 古知 知義
	組名 砧 町名 成城 祖師谷3-5	組名 砧 町名 成城 祖師谷3-6
	組名 南烏山 町名 南烏山、粕谷	組名 南烏山 町名 南烏山、給田
7P 会員のページ	奥沢組 矢我崎 幸代	奥沢組 矢我崎 佐代子

編集後記

重い本箱のせいか、階下の部屋の鴨居が下がり、ドアの開閉がひっかかるようになった。「一箇所だけで工務店に頼みにくい」とぼやいたら、「そんな時こそ当センターの大工に頼め」と先輩組長さんにアドバイスされた。大掃除でやっかいな「換気扇・レンジフードの掃除」等も、シルバーの家事支援グループが扱っていることは知られていない。会員同士、もっと互いにマンパワーを活用しませんか。(広報担当)

..... みんなで会員を増やして地域に貢献

生きがいとたのしい仲間が待っています

現在約2,900人の会員がいます。仕事だけでなく趣味(カラオケ、ゴルフ、ボウリング、ボランティアなど)のグループもあります。



高齢者にふさわしい仕事をご紹介します

高齢者が「社会参加」を求めています。生きがいのある仕事をご紹介します。センターが責任をもって実現します。

問い合わせ TEL (03) 3426-9211 宮坂本部